

# 第5学年音楽科学習指導案

日 時 令和7年10月17日  
 児 童 恵庭市立恵み野小学校  
 5年2組26名  
 指導者 長岡弘佳

1. 題材名 日本の音楽 「せんりつを感じを生かして民ようを歌おう」

## 2. 題材観

本題材は、表現や鑑賞の活動を通して、日本の子守歌や様々な民謡に親しみ、音楽それぞれの特徴や違い、よさや面白さを感じ取ったり、生活との関わりに気付いたりすることをねらいとしている。

共通教材である「子もり歌」を歌ったり、民謡の拍節的な音楽と非拍節的な音楽とを聴き比べたり、暮らしの中にある日本ならではの特徴的な声の表現に注目していく。また、「こきりこ節」や「谷茶前」では、それぞれの旋律の感じや表現形式を生かしながら歌ったりする。

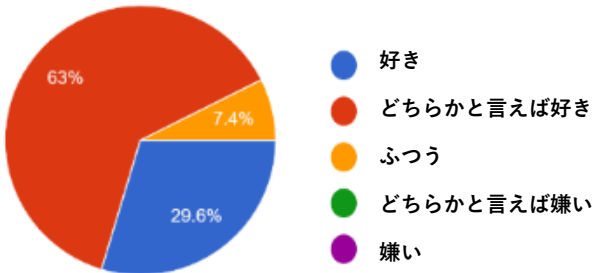
本時では、沖縄の音階をつかった音楽づくりを通して、即興的に旋律を考え、つなげて表現する中で、我が国の伝統的な音階の特徴をそれらが生み出すよさや面白さと関わらせながら理解し、旋律をつなげる様々な発想を広げ、友達と協働して主体的に音楽づくりに取り組むようにしていきたい。

## 3. 題材の目標

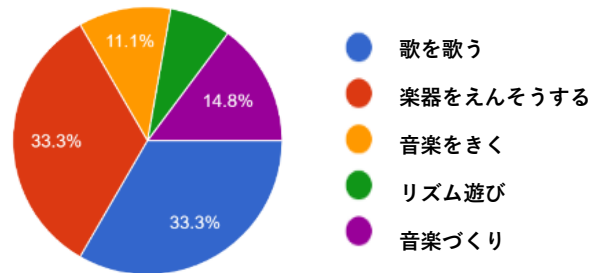
- (1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。
- (2) 旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりする。
- (3) 我が国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多様な音楽やその表現に親しむ。

## 4. 児童の実態

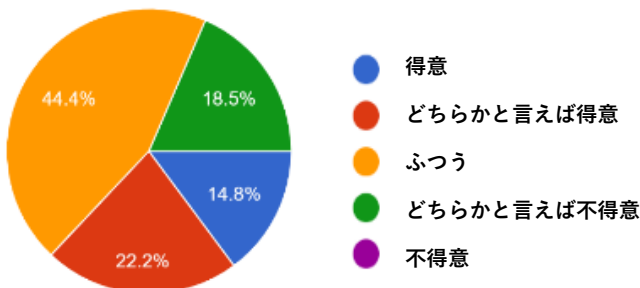
① 音楽は好きですか？



② 音楽の授業で楽しいことはどんなことですか？



③ 自分の考えや気持ちを音や歌で表すのは得意だと思いますか？



④ 音楽の授業でもっとやってみたいことはどんなことですか？

- ・なんかの音楽で楽器やってみたい・音楽をきくことをもっとやりたい・たまにリコーダー以外の楽器をひく。・何かの音楽を決めて楽器をしてみたい。・作曲して歌いたい。
- ・パソコンで調べた曲を歌いたい・歌を歌うこと
- ・楽器をもっとひきたい！（木琴が特にひきたいです）
- ・もっと楽器を使った授業をしたいです、・長い音楽作り
- ・もっときれいに声を出せるようにやってみたい
- ・音楽づくりをもっとやりたいです。・自分で曲を作ること。
- ・リコーダーでの授業・ハローシャイニングブルーを何回か歌いたい・曲名クイズ（音楽を聞いて曲名を当てるやつ）

本学級の児童は、音楽に対して明るく前向きな姿勢をもっており、日常の音楽でも楽しみながら学習に取り組んでいる。特に歌唱活動やリコーダーの演奏が好きな児童が多く、旋律を正しく演奏する力や友達と合わせて表現する楽しさを実感している様子が見られる。また、ICTを使った音楽づくりの活動にも取り組んでおり、自分のイメージを音で表現する楽しさを感じてきた。しかし、みんなの前で自分の音や表現を披露することに対して、恥ずかしさから消極的になる様子も見られる。

このような実態から、沖縄音階（ド・ミ・ファ・ソ・シ）を用いた音楽づくりの学習では、伝統的な響きへの興味を引き出しつつ、正解のない音楽づくり活動を通して児童が自由に表現する喜びを感じられるよう支援することが重要である。仲間と音を聴き合い、発想や工夫を共有することで、自分の表現に自信を持ち、音楽的な創造力を高めていきたい。

## 5. 題材の評価規準

	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に取り組む態度
題材の評価規準	<p>曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。</p>	<p>旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりしている。</p>	<p>我が国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>

## 6. 指導計画と評価計画（4時間扱い）

時	学習内容	評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
1	<p>○日本の子もり歌の節回しや、特徴的な曲想を感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二種類の「子もり歌」の範唱を聴き、曲想や節回しの特徴を感じ取る。</li> <li>・♭の記号の意味を理解する。</li> <li>・「子もり歌」を♭を付けた節と付けない節で歌い比べ、旋律の感じの違いについて交流する。</li> </ul> <p>○節回しや旋律の特徴を生かし、「子もり歌」を表情豊かに歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容について交流する。</li> <li>・二つの旋律の違いに気を付けながら、それぞれ気持ちを込めて歌う。</li> </ul>	<p>「子もり歌」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。</p>		
2	<p>○民謡を歌う声の出し方（音色）や節回し、拍に注目して、「会津磐梯山」と「音戸の舟歌」を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲を聴いて、声の出し方、節回し、リズムなど、気づいたことを出し合う。</li> <li>・それぞれの曲を手拍子を打って拍を捉えながら聴き、拍を感じる歌と拍に捉われない歌があることに気付く。</li> </ul> <p>○身近にある商売の声などを、声の出し方や節回しに注意して聴いたり、歌ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商売の声や、相撲の呼び出しなどを、声の出し方や節回しの面白さを感じ取りながら聴く。</li> </ul> <p>○いろいろな日本の民謡の特徴やよさを感じ取りながら聴く。</p>		<p>我が国の音楽の旋律や音色、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見いだして聴いている。</p>	

3	<p>○民謡を聴いて、声や歌い方の特徴、使われている楽器の音色、リズムの特徴などが生み出すよさや面白さを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「こきりこ節」「谷茶前」などいくつかの民謡を聴き、歌い方や伴奏の楽器などの特徴を感じ取る。</li> </ul> <p>○沖縄音階のドミファソシドから音を選んで旋律をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終わりの人はドソドのいずれかの音で終わる。</li> </ul>	<p>思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。</p>		<p>我が国に伝わる音楽の特徴や、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>
4 (本時)	<p>○沖縄の音階やリズムの特徴を生かした音楽をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伴奏に合わせて旋律を工夫する。</li> <li>・つくった旋律をリコーダーで演奏する。</li> <li>・グループで演奏し、お互いの音楽を聴き合う。</li> <li>・終わりの人はドソドのいずれかの音で終わる。</li> </ul>		<p>沖縄の音階を使い、沖縄の音楽の特徴にふさわしい表現を取り入れながら、どのように演奏するのかについて自分の思いや意図をもって表そうとしている。</p>	

7. 本時の目標

- ・沖縄の音階を使い、沖縄の音楽の特徴にふさわしい表現を取り入れながら、どのように演奏するのかについて自分の思いや意図をもって表そうとしている。(思・判・表)

8. 本時の展開 (4/4)

	学習内容	●教師の関わりと評価 ◇指導上の留意点	共通事項
導入	1. 前時の振り返りをする。 ・沖縄音階（ドミファソシド）から音を選んで組み合わせた旋律を確認する。 2. 本時の学習の課題を知る。	◇前時までに沖縄音階をつかって旋律を考えている。 ◇グループで4分の2拍子8小節で考えている。 ◇スマイルネクストに書き込んでいる。	
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">             沖縄の音階やリズムの特ちょうを生かした音楽をつくろう。           </div> 3. どうしたらさらに沖縄音楽に近づくかを考える。 ・リズム・速さ ・かけ声・合いの手など ・終わりの人はドソドのいずれかの音で終わる。  4. グループごとに作った旋律を工夫や伴奏を入れて沖縄音楽に近づける。 ・グループで工夫の条件を選んで、作った旋律に変化を加える。 ・伴奏は、速さが普通・遅いの2種類からグループのイメージに合わせて選ぶ。 ・作った旋律をリコーダーで演奏する。  5. 発表をする。 ・いくつかのグループが発表する。 ・グループで作った旋律を演奏する。	●「どうしたら沖縄音楽に近づくか」を問い、どのような特徴を生かせば、自分たちの旋律が沖縄音楽に近づけることができるのか考えることができるようにする。  ◇既習事項からリズム・速さなどの沖縄音楽の特徴が出てきたら、板書して振り返りやすくする。  ◇Google 共有ドライブに速さの違う伴奏を貼っておき、選べるようにしておく。 ◇グループで2台タブレットを準備し、書き込み用と伴奏再生用に分けて使う。 ◇社会科で作成した沖縄県のまとめのプリントから沖縄県を想像しながら音楽づくりをする。  ◇リコーダーで演奏する。 ●沖縄の音楽の特徴にふさわしい表現を取り入れながら、自分の思いや意図をもって表そうとしている。【演奏の聴取、行動の観察】 ◇どのようにつくったのかを伝え合い、グループの工夫を共有する。聴き手の児童も沖縄らしさを感じたところや工夫していたところに注目して聴くように促す。	旋律
まとめ	6. 学習のまとめをする。	・グループで振り返りをする。	

9. 評価

- ・沖縄の音階を使い、沖縄の音楽の特徴にふさわしい表現を取り入れながら、どのように演奏するのかについて自分の思いや意図をもって表そうとしている。(思・判・表)

10. 資料

\*前時・本時のスマイルネクスト

(スマイルネクストは、クラウド上で教材を配信したり、子どもの学習状況をリアルタイムで見たりできる授業支援アプリ。プリントを配らなくても、端末に届けられて、子どもの答えを一覧で見ることができる。)

